



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸知事

平成二〇年秋の叙勲

県下から消防功勞により十三名が受章

平成二〇年秋の叙勲が十一月三日(文化の日)に発令されました。消防関係の受章者は、全国で五二三名、うち兵庫県では、元消防団員十三名が榮譽に輝きました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

伝達式は、十一月六日(木)一〇時〇〇分から東京・虎ノ門

の日本消防会館内ニッショールで執り行われ、消防庁長官から各代表者に叙勲が伝達されました。

〈全国消防関係受章者数〉	
瑞宝小綬章	二八名
旭日双光章	二名
瑞宝双光章	一一七名
瑞宝単光章	三六六名
計	五二三名



秋の叙勲伝達式

火のしまつ
君がしなくて
誰がする

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎瑞宝双光章

元洲本市消防団

団長 米山 昇



元神戸市東灘消防団

団長 志井 一雄



◎瑞宝単光章

元西宮市消防団

副団長 浅井 克己



元芦屋市消防団
分団長 上原三和二



元尼崎市消防団
分団長 岡田 好弘



元高砂市消防団
分団長 貝塚 豊景



元加古川市消防団
分団長 木戸 篤郎



元明石市消防団
分団長 木下 丈夫



元篠山市消防団
団長 小前 芳彦



元赤穂市消防団
分団長 千崎 敏明



元小野市消防団
副団長 田村 彰敏



元朝来市消防団
副団長 藤原 壽雄



元淡路市消防団
副団長 向田 護



平成二〇年秋の褒章

平成二〇年秋の褒章が十一月三日(文化の日)に発令されました。

消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した方々に授与される藍綬褒章は、全国で六二名、うち兵庫県では、消防団員一名が受章の榮譽に輝きました。

伝達式は、十一月十八日(火)一〇時四十分から東京のルポール麹町で執り行われ、消防庁長官から代表者に褒章が伝達されました。

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎藍綬褒章

神戸市灘消防団

団長 伊藤 眞彦



「平成二〇年度女性消防団員研修会」

兵庫県消防協会

平成二〇年度女性消防団員研修会が平成二〇年十一月二二日(土)に神戸市北、神戸市西、

尼崎市、芦屋市、川西市、加古川市、播磨町、小野市、豊岡市、出石、各消防団の女性団員三九名参加のもと、兵庫県立広域防災センターにおいて開催されました。

午前の部では、富山県高岡市消防団高岡女性分団長の横川照子さんより「女性消防団員の効果的な活動方法について」の演題で女性消防団の更なる飛躍と「消す消防より、火を出さない消防」を目指して活動されている自身の経験を踏まえて、今後の女性消防団の課題や取組みについて講演をいただきました。

続いて、各消防団における取り組みについて発表をうけ、意見交換会が行われました。各地の取り組みについて知ることが

できる貴重な機会となりました。

また、昼食会は恒例の交流会を兼ねており、明るく積極的な情報交換が行われていました。午後からは防災講習会が行われ、心肺蘇生法、AEDの使い方について、消防学校教官より重点的に指導を受けました。

心肺蘇生法やAEDの使い方については反復練習が必須となります。いざという時には、自分達が率先して使えるようになるため、皆真剣に講習を受けられていました。



防災講習会の様子

「変革する時代に
即応する」

姫路市香寺町消防団長

白石 光廣



姫路市香寺町消防団は、昭和二九年に香呂村と中寺村が合併して町制が施行されたと同時に、香寺町消防団として団員六三〇名で発足し、平成十八年三月二七日に、姫路市と香寺町の合併により「姫路市香寺町消防団」として再発足をいたしました。現在の編成としては、神崎郡

香寺町の体制のままの、二三分団三七八名と消防車両二一台で組織されていますが、「姫路市消防団分団再編整備事業計画」により、平成二三年四月一日には、一小学校区一分団・分団員八〇人体制で、三分団・分団員二四〇人体制に再編されます。私が香寺町消防団に入団したのは、昭和三五年一月二日でしたが、平成二一年三月三十一日には定年で退団いたします。姫路市香寺町消防団の団長といたしましては、「香寺町消防団」から「姫路市香寺町消防団」という新体制になった大きな変遷を経験いたしました。消防団としての区域に変わり無く、自治会と分団との関係も従前とおりでしたので、大きな混乱も無く、無事に体制の変換は終えることができました。

また、消防団活動においても、現在は香寺町消防団の時と同じか、それ以上の消防団活動が来ていると自負しつつ、活動にご指導ご支援を頂いている、団員をはじめ地元の自治会・姫路市消防局に感謝をしています。時代の趨勢で、ますます市民の皆様の「安全・安心」を求められる要望も大きくなっていきますので、消防団としても従前には無かった、「消防団員応急手当指導員養成講習の受講」や「事業所・各種団体・消防署及び消防団の合同訓練」などの教育や訓練を積み重ね、地域での防災リーダーとしての活動が出来るよう、消防団活動の内容を変化する努力もしています。

消防団今昔

54

「消防団で広がった
人付き合い」

洲本市消防団副団長

殿脇 修



私は、地元の先輩の勧めもあり、昭和四五年消防団に入団しました。最初は現場のことを何もわからず入団から二年位は、サイレンが鳴ればとにかく先輩に付いて現場に向かうといった感じでした。また、当時の分団の雰囲気は、今の友達同士のような感覚ではなく、先輩が絶対的な存

在でした。また、当時の洲本消防署（現淡路広域消防本部）が地元分団の管内にあり、現在のような分団毎の出動区分もなかったことから、私の分団は比較的火事の出勤に対して積極的で、年二〇〇〜三〇〇回程度出動していました。私は、詰所の近くに住んでいたこともあり、当初から機関員をさせてもらいましたが、初めての現場では、練習でできた操作がいざ現場では上手くいかず、先輩の助けを得てなんとかその場を乗り切ることができたことを覚えています。

積むことが一番だと考えています。また、長年団員として多くの現場を経験してきた中で、火事となると一目散に火元を目指す傾向が多いように感じますが、水利の確保が重要であり、水利が確保できていれば安心して消火活動に専念ができるものだと思います。最近では就業体系の変化により、昼間は団員が地元にいることが少ないため、限られた人員で効果的に活動するには他分団との連携の充実を図ることが重要であり、今後は分団だけの訓練だけでなく、他分団との合同訓練が増えればと考えています。

分団から一名ずつ選出された委員による「香寺町消防団新体制研究会」を発足させ、香寺町消防団として三分団二四〇名体制にスムーズに移行し、移行後においても、消防団員が自信と誇りを持って活動でき、今以上に市民の皆様の負託に応えらるる「消防団活動」が出来るよう研究を重ね、新体制への移行に万全を期すために頑張っています。



地 区 通 信
「平成十六年台風二三号水害から四年」

豊岡市豊岡消防団

兵庫県の北東部に位置する豊岡市は、平成十七年四月一日に近隣一市五町が合併して発足し、面積約七〇〇平方kmと県内の四分一を占め、人口約九万二千人の自治体となりました。

に配備、船外機付ボート五艇の管理委託を受け、水害にも備えています。

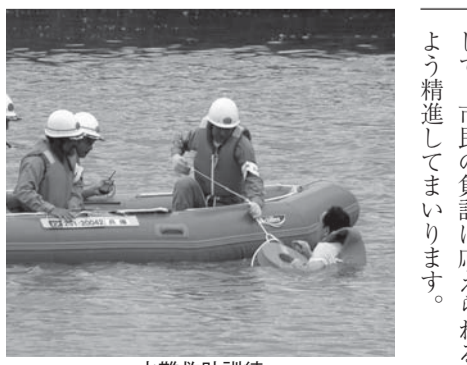
北は日本海、東は京都府に接し、海岸部は山陰海岸国立公園であり、南は山岳・高原地帯が広がり、多彩な四季を織りなす自然環境と、豊岡靱・コウノトリ・城崎温泉・出石皿そばなど多くの観光資源にも恵まれ、古くから但馬地方の政治・経済・文化の中心としての役割を果たしてきました。

この大水害において、消防団は団員の約六割が被災する中、消防団の能力・特性を最大限に発揮し、身の危険が迫る中、堤防の決壊情報をいち早く正確に災害対策本部へ通報するなど、不眠不休の活動を行いました。



自主防災組織合同訓練

豊岡市豊岡消防団では、台風二三号水害を経験して、水害の教訓を基に、「市民の安全な暮らしを守る」ために様々な災害対策に取り組みしています。代表的な三つの取り組みとして、二三号水害では、急激な水位上昇と堤防の決壊によって避難できなくなり、自宅などに残り残された市民が多くなりました。逃げ遅れた市民の救助活動をスムーズに行うため、消防団内に「水難救助部隊」を編成し、定



水難救助訓練

今後も、あの台風二三号の経験を忘れる事なく、「減災の視点」に立ち、市民の生命と財産を災害から守るため、また、安全に安心して暮らせるまちづくりを目指し、全団員が一致団結して、市民の負託に応えられるよう精進してまいります。



積み土嚢訓練

地域防災の要、消防団

加東市消防団

柴崎 彰孝 団長



柴崎団長は、昭和四五年に旧東条町消防団に入団され、平成四年に副団長、平成十二年には旧東条町消防団長に就任、六年間東条町消防団の先頭に立ち、消防団活動を指揮されてきました。

平成十八年三月に社町、滝野町、東条町の合併に伴い、加東市消防団が発足して、旧社町吉田団長が初代団長に就任される

わがまちの団長さん

155

「信頼される団長さん」

南あわじ市消防団

川本 啓二 団長



南あわじ市は兵庫県最南端の市であり、平成十七年一月十一日に三原郡緑町、西淡町、三原町、南淡町が合併して誕生。合併後の人口は約五万五千人となり面積、人口とも淡路島最大の市となりました。

南あわじ市消防団はこの南あわじ市誕生と同時に発足し、現在は四方面隊、五九分団、消防ポンプ自動車二四台、小型

と、副団長として、発足間もない新消防団が機能的な組織として活動ができるよう、豊富な知識と経験、指導力で団長を補佐し、加東市消防団の礎を築いてこられました。

そして、本年四月に第二代加東市消防団長に就任されました。

柴崎団長は、気さくに若い団員からの意見に耳を傾け、その要望にこたえるべく、自ら関係当局に働きかけて団員が活動しやすい環境を作ること心がけておられます。

また、団長就任後、管内で火災が連続した際には、いち早く消防団員を動員して火災予防の広報とともに警戒巡視を指示するなど、頻発した火災の抑止に効果を上げられました。

動力付積載車八三台、団員数二、一九〇人体制で日夜消防活動に精励しています。

川本団長は平成二年に旧南淡町消防団に入団され、以降平成十二年に同町副団長、そして合併後も副団長を努められ、平成二〇年四月一日より第三代南あわじ市消防団長に就任されました。また、淡路地区消防協議会の会長も兼任されています。

合併後三年が経過しましたが、円滑な消防防災活動のため、旧町の垣根を越えた、災害時に迅速かつ効率的に対応できる体制づくりに取り組んでおられます。また普段は温厚な人柄の団長も、消防団活動では災害現場だけに限らず日頃からの消防団員としての規律を重んじ、時には厳しい言葉もかけられますが団員への配慮も細やかで幹部・

消防団として、消火活動だけでなく予防消防にも力を入れ、大規模災害時には加東市消防団員一、二二六名が、即時に対応できるように技術の向上を図り、地域防災の要としての消防団活動に邁進されています。



若手を問わず信望が厚い団長です。

農協職員という本来のお仕事の傍ら、消防団活動にも熱心に取り組み日々多忙な団長さんですが市民の生命・身体・財産を守るため、地域住民から信頼される消防団を目指し、なお一層のご活躍が期待されています。



北から南から

先人の知恵を学ぶ「たたら製鉄法」

宍粟市支部

宍粟市は、平成十七年四月一日に旧宍粟郡山崎町、一宮町、波賀町、千種町が合併して誕生しました。

面積は、兵庫県の約七・八%を占める六五八km²で、東西方向約三二km、南北方向約四二kmの広がりをもつ、県下最高峰の水ノ山、三室山など一、〇〇〇mを超える山々がそびえ、山のおもむきを流れる掛保川の清流、名水の千種川をはじめ、渓谷等の景勝地、開花時期に多くの人が訪れる千年藤など、豊かで美しい自然資源や風景が四季折々の風情を織りなしています。

また宍粟市は、播磨国風土記に記された播磨の国の開拓神「伊和大神」の本拠である歴史と伝説のふるさとであり、市内には古代からの遺跡をはじめ、南北朝時代から戦国時代にかけての史跡や伝統的な祭り、また、神話・伝説なども多数残されており、なかでも、旧千種町には、古代以降明治期まで主として日本刀の原材料として名声をかせいた「千草鉄」を産出し、たたら製鉄所の遺跡がいたる所で見られるなど鉄の郷として繁栄してきました。

われら若手消防団員(14)

消防団に入団した理由

神戸市灘消防団第四分団

高木 清介



私と消防団とのかわりには、私が二六歳の時、近くに住む消防団員の方から「消防団に入らないか？」と声を掛けていただいたのが始まりです。

私は迷わず、「消防団に入ります」と答えました。



郷土を愛する心を育てる

ら製鉄法」をボランティアの指導を受け、川での砂鉄採集から始め、純度の高い砂鉄を選別する「かん流し」、砂鉄を炉内に投入し、三〇〇度以上の加熱、「けらだし」の手順を体験、砂鉄からの製鉄法をはじめ、その歴史や科学等多くを学んできました。

体験した中学生は、昔の人が磁石もなしに砂鉄を採集する方法

年生の時に経験した、ボランティア活動の印象が強く残っていたからです。

それは、平成十年八月二六日から記録的な集中豪雨により、栃木県那須町などに甚大な被害をもたらした「那須水害」の現地にボランティアとして二週間滞在した時のことです。

水害の土砂に押しつぶされた家屋の中から家具や家電などを取り出していた時、住人の方が一冊のアルバムを見つけてました。住人の方は一つひとつ、思い出を話され共泣いたり、笑ったりしました。救援活動を終えると住人の方から「ありがとう」、「ありがとう」と幾度もお礼の言葉をいただきました。いままでの疲れが、

さわやかな充実した気持ちになりました。

この時のように、誰かの役に立てるのであれば、消防団員になりたいと思ったからです。入団してからは、できる限り活動に参加しました。

今年第二二回兵庫県消防操法大会に選手として出場し、これまで以上に技術と団結力を身につけることができました。この度の貴重な経験を生かして、これから増える予想される異常気象による災害などにも対応できるように、日ごろから訓練を重ね地域の方々の安心と安全のために役立てるよう、がんばりたいと思っています。

地 区 通 信

「西宮市消防団訓練出動！」
兵庫県合同防災訓練参加

西宮市消防団

平成二〇年八月三〇日、西宮市甲子園浜において、兵庫県、阪神広域、西宮市が合同で防災訓練を実施しました。

機能別消防団員は、新しい情報の習得や技術の向上のために年間を通じ、研修や訓練を実施することとなっており、その一環として、今回の訓練参加となりました。

隊、警察、海上保安庁等の防災関係機関をはじめ、医療関係者、自主防災組織のほか、市民などの見学者を合わせ、二千人の訓練参加者となりました。西宮市消防団では、機能別消防団員による住民避難誘導訓練と分団ポンプ車両による、一斉放水訓練で参加しました。

訓練の内容は、被災した住民を、避難所まで誘導する班と、建物倒壊により負傷した住民を応急救護所まで誘導する班に分かれ実施しました。

全員が阪神・淡路大震災当時、現場で指揮を執っていた方ばかりですので、メガホンや合図灯をうまく活用し、非常に「てきぱき」とした行動で、安全かつ確実に避難誘導を行っており、さすが「大先輩」と感動した場面でもありました。

今回、訓練に参加した機能別団員の一人は、「大災害時には、基本団員と共に、災害に立ち向かって行きたい。」と

述べるなど、その災害に対する意気込みは非常に心強く感じられました。訓練の最後には、分団ポンプ車両十一台による、一斉放水が行われ、訓練の幕を閉じました。

西宮市は、この四月に中核市となり、より充実した市民サービスを行うことが可能となりました。消防関係では、高度救助隊を配置し、消防体制の強化を行い、安全で安心して暮らせる街づくりを進めていきます。また、地域防災の核となる消防団にあっては、市民からの期待が大きくなってきており、その期待に応えるためにも、日々の訓練を重ね、有事の際に備えてまいります。



機能別消防団員



一斉放水



避難誘導

編集後記

年末警戒や年明けには出初式を控え、あわただしくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では「秋の叙勲・褒章」「平成二〇年度女性消防団員研修会」について掲載しております。また、四面にて一月実施の出初式日程一覧を掲載しております。

今回の消防団今昔には姫路市香寺町消防団長白石光廣さん、洲本市消防団副団長殿脇修さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

いよいよ年の瀬、気がついてみると早いものです。来年に向けてあと少し頑張りましょう。兵庫消防では皆様からの寄稿をお待ちしております。

【お詫びと訂正】

兵庫消防十一月号（第六〇五号）われら若手消防団員の記事において、寄稿者の氏名を誤って掲載しておりました。

深くお詫び申し上げますとともに次のとおり訂正します。

正 洲本市消防団都志分団
細川 祐人

「こんにちは！兵庫の消防団です」

<http://www.hyogoshoubou.jp/>

平成21年消防出初式日程表（1月実施分）

地区	実施日	市町名	開始時刻	場 所	地区	実施日	市町名	開始時刻	場 所
神戸地区	1月11日(日)	神戸市	10:00	メリケンパーク	西播磨地区	1月11日(日)	相生市	9:30	那波中央公園
阪神地区	1月10日(土)	伊丹市	10:00	昆陽池公園多目的広場			たつの市	9:30	千鳥ヶ浜グラウンド
		尼崎市	10:00	尼崎市立中央中学校校庭			赤穂市	9:30	千種川河川敷公園
	1月11日(日)	川西市	8:30	川西市立西北小学校、川西市文化会館			上郡町	9:30	上郡町役場裏駐車場
		芦屋市	10:00	芦屋市立体育館・本通り商店街		1月18日(日)	太子町	9:30	太子町民グラウンド
		宝塚市	10:00	宝塚市立末広小学校体育館		1月4日(日)	豊岡市但東	9:30	但東市民センター
	猪名川町	9:30	猪名川町文化体育館イナホール	1月6日(火)			豊岡市城崎	9:00	城崎小学校・城崎総合支所
	1月12日(月)	西宮市	9:30	武庫川河川敷公園			1月11日(日)	豊岡市豊岡	9:00
東播磨地区	1月11日(日)	明石市	9:45	明石市役所周辺・明石市市民会館		豊岡市竹野		9:00	竹野中学校体育館
		加古川市	9:00	加古川市防災センター		豊岡市出石		9:30	出石中学校体育館
		高砂市	9:30	高砂市総合運動公園・総合体育館	丹波地区	1月11日(日)	篠山市	10:00	たんば田園交響ホール
		加古郡(稲美町、播磨町)	10:00	稲美町立天満東小学校グラウンド		丹波市	7:30	春日体育センター	
中播磨地区	1月11日(日)	姫路市	9:30	シロトピア記念公園	淡路地区	1月4日(日)	南あわじ市	9:30	三原健康広場
		市川町	9:00	川辺小学校グラウンド			淡路市	10:00	北淡中学校グラウンド
	1月18日(日)	福崎町	9:30	田原小学校グラウンド		1月11日(日)	洲本市	9:00	洲本市文化体育館・洲本港